

成果と課題

成果

○低学年

- ・意欲的に英語表現を聞き、楽しみながら活動できた。
- ・ゲームや歌などを多く取り入れたことで、より楽しい英語活動となった。
- ・ALTの音声を聞くことで、コミュニケーションへの興味・関心が高まった。
- ・ALTからの自己紹介があり、アメリカの文化などに触れることができた。
- ・1年間を通して教頭が講師を担当することで、とても楽しく実践的な研修を行うことができた。そのことが、授業に生かされていた。
- ・外国語活動部会をもち、指導方法や教材などの検討を行い、互いに意見交流ができた。
- ・低学年及び中学年担任が、高学年の教材研究・授業研究に参加することができ、今後の参考になった。
- ・先進校の研究会への参加は、全職員が共通の研修をする良い機会となった。

○中学年

- ・年間3回の外国語活動だが、子どもたちはとても楽しみにしている。
- ・中学年だけでなく低学年と一緒にいったことで人数が増え、活動の種類や幅も広がった。
- ・教頭を中心として定期的に外国語部会を持つことで、外国語教育を全職員のものとして考えることができて良かった。
- ・先進校での研究会にも参加でき、研修を深めることができた。
- ・JTLの先生も一緒にワークショップなどの研修をしていただく機会があり、外国語をより身近に感じることができた。ALTの先生より、英語の苦手な日本人の気持ちもよく分かってくれたので、相談しやすかった。

○高学年

- ・学級担任以外に他の先生が加わり一緒に授業をすることで、児童がいつもより一層楽しく感じながら活動することができた。
- ・学級担任が積極的に英語を用いて授業を行うことで、児童の英語への関心が高まった。
- ・JTLの先生が日本人であるという安心感が、児童が何でも言える雰囲気を作り出した。
- ・チャンツや歌、様々なゲームに積極的に取り組めた。
- ・ゲームを活用することで、児童は、夢中になって英語を聞いたり話したりした。
- ・先生に代わり、教室の前に出て、チャンツやゲームなど自身を持ってできる児童が増えた。
- ・歌では、体全体を使い、ノリノリで歌えるようになった。
- ・全ての児童が、意欲を持って活動に取り組み、外国語活動を楽しんでいる。スピーチなどの場面では、難しい表現にも最後まであきらめずに取り組めた。
- ・表現することへの意欲が高まり、どう英語で表現したらよいか指導者に質問する場面が増えた。
- ・聞く活動が充実した。児童は、指導者や友だちの話す英語に耳を傾けて、一生懸命聞き取ろうとしている。
- ・TTの形が定着してきた。それぞれの役割分担もうまくできている。

- ・ふりかえりシートの活用により、指導方法の改善に繋がった。
- ・授業中、ほとんど英語を用いて進めることができた。
- ・毎時間の指導案・ふりかえりシートを資料として残すことができた。
- ・外国語活動部会による指導案づくりや教材づくり、また、研究授業の実施により、効果的な指導方法について研究を深めた。
- ・JTLとの打合せも毎回行い、スムーズに授業を行うことができた。
- ・研究授業を行うことで、指導者一人一人のスキルアップに繋がった。1 単位時間の授業の各活動に責任を持つことで、活動をリードすることへの積極性が生まれた。
- ・外国語活動における複式指導の在り方について、研究することができた。

課題

○低学年

- ・楽しい英語活動にするため、興味・関心をもてるゲームや歌の組み入れなどの工夫や教材の準備が今後も必要である。
- ・ALTとの打ち合わせを密に行い、担任としての関わり方を積極的に行っていききたい。
- ・教師自身が楽しみながら、大げさにアプローチする必要性を感じつつも十分できていないため、授業や研修を重ねていく必要がある。

○中学年

- ・指導案作成や授業の進め方など、外国語活動主任に頼るばかりなので、担任としてもっと積極的に関わらなければならない。
- ・英語活動の回数を増やすことができれば、さらに英語が好きになるのではないかと考える。
- ・教師自身が外国語への苦手意識を取り除けるよう、努力したい。

○高学年

- ・楽しみすぎてハメをはずす児童に、授業後に指導する場合がある。
- ・今後も外国語活動部会の取組を発展させていきたい。
- ・更に研修を深めて、指導者それぞれの指導力向上を図りたい。
- ・児童がこれからも外国語活動を楽しんでいるための教材研究を進めていきたい。

